

春の箱根 展望とカヤトの尾根歩き  
 金時山～明神ヶ岳

実施日 2013年4月28日(日)  
 天候 晴れ  
 リーダー 涌井 良明  
 参加者 齋恵美子、佐藤金治、一柳昭、涌井良明、鈴木恵美子、小村井好江、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、宮下良之、小名秀鋭、熊本沙江子、石附智子 計16名  
 費用 バス1,320円(箱根湯本起算)  
 タイム 箱根湯本駅(8:50)乙女口(9:35~9:40)乙女峠(10:30~10:40)金時山(11:45~11:55)昼食(12:35~13:00)P946m(13:47~13:52)明神手前鞍部(14:37~14:45)明神岳(15:30~15:45)宮城野分岐(16:15~16:20)宮城野BS(17:20~17:30)箱根湯本駅(18:25)

GW中で快晴とくれば混雑も当然？で、前半は山で人酔いする位のにぎやかさで普段とは異なる趣だった。が、終わってみればなかなか歩きでの山行だったが、皆さんいかがだったでしょうか？湯本駅はハイカーが群がって臨時バスが出るほどだった。

乙女口BSの僅か先の登山口から今日も長丁場の歩きがスタート。

脇の国道のノイズも聞きながら、表土が剥がれむき出しの木の根が絡まる森の道の歩き易そうなトレースを登る。



やがて明るい芽吹き、の道になりジグザクに登り徐々高度を上げる。突然ヘリコプターが低空で襲来し、強風を浴びせられたりしながら、乙女峠に出る。正面の美形の富士に挨拶をして金時山へ向かう。さすがGW行き交う登山者も多くなる。可愛いフジザクラ、こぼれ落ちそうなアセビや箱根外輪山の山並を眺めつつ金時山に近づいていく。

ワオ！金時山頂は人の波。それこそこぼれ落ちそうなほどのハイカーが群れている。さすがに富士は



美しいが、通勤電車並みには酔いそうなので、用足しのみで先へ歩を進めたが…。あれまあ、山頂直下は思いの外岩っぽい道でお子ちゃま連れファミリーや季節ハイカーには時間もかかる道である。なので次世代の登山愛好者のためにも？じっと我慢して渋滞に嵌りながら下る。金時神社の周回路分岐を過ぎ、矢倉沢峠へ下り着く手前で外輪山脈を眺めながら昼食にした。

さて、後半は矢倉沢峠から左方へ明神ヶ岳へ入ると人影も少なくなっとなって山行らしくなってくる。展望のカヤトの尾根歩き



と言いたいところだが篠竹は背丈以上にも伸びているのはザンネンかな。

それでも好天と緩やかに起伏する山稜の明るい雰囲気は良い気分だ。

946mのピークを越すと稜線を外れ、山腹の道になり983m峰、火打石岳とピークは踏まずに通過する。明神ヶ岳への最低鞍部で一息入れて標高差200m余りの登りになった、つらい登りを耐えて前方のガレの縁を辿って行くと大きく開けた明神ヶ岳に到着。縦走スタートの金時山。



ずいぶん遠くに見える。疲れる訳だねえ！

ここでやっとな集まり合写に納め、ここから下山開始、明星ヶ岳方面に下って行道

き、宮城野分岐から縦走路と別れ下山道に入る。メジャーな地域にしては荒れた感じの道を下る。斜度が緩くなる薄暗い別荘地沿いの溝道を下り続けて登山口に出て、舗装路を10分程で宮城野BSに着いた。



タツナミソウ

渋滞気味のバスでは立ったまま湯本駅まで揺られ、好天の箱根とGWの混雑をも楽しんだ？山行もこれにて解散。

皆様、タイヘンお疲れ様でした。沢山歩いてツカレタけど楽しめた山行だったでしょ！(^\_^)

直ぐに帰れない組は小田原で盛り上ってから三々五々帰宅になった。チャンチャン！(記&写真・涌井 良明)